



港区立高松中学校 学校だより〈第1号〉

平成27年4月10日 校長 鈿持 利行

創立1949年（昭和24年）

〈高松中生のあたりまえ〉推進校

港区高輪1-16-25

新年度のはじまりあたって

校長 鈿持 利行

温かい春の陽射しのもと、爛漫の花に彩られて、いよいよ新年度が始まりました。94名の新入生を迎え、全校生徒数302名でのスタートとなりました。新入生の保護者の皆様、ご入学おめでとうございます。2、3年生の保護者の皆様、今年度もよろしくお願いいたします。

入学式ではダイヤモンドをたとえに、次のような話をしました。ダイヤモンドは今では最も高価な宝石ですが、その高い価値が認められるようになるまでには何百年もかかっています。ダイヤモンドは人類が発見した世界で最も硬い物質です。そのためカットしたり磨いたりできませんでした。したがって、原石のままでは美しくなかったのも、お守りとして使われていたぐらいで、ルビーやサファイアに比べて価値はかなり低いものでした。ところが、14世紀になってダイヤモンドはダイヤモンドで磨けばいいという技術が発見されました。それから、その形や美しい輝きが次第に宝石としての価値をもち始め、17世紀の末頃から今のような宝石の中では最も高い価値をもつようになりました。ダイヤモンドはダイヤモンドで磨くことで美しく輝くようになったのです。（砂川一郎著『ダイヤモンドの話』より）

このことと同じように、私は人も人に磨かれることで人として輝く、人として立派に成長するのだと思います。高松中学校には、毎日の教科の勉強や朝読書をはじめ、運動会や合唱コンクールなどの行事、部活動や委員会活動など、たくさんの学習や活動があります。ぜひ、それらの活動に、失敗を恐れず積極的に挑戦し、自分の力を試してほしいと思います。自分自身が全力を尽くすことはもちろんですが、クラスの仲間、あるいは学年を超えた仲間と一緒に、力を合わせて取り組んでほしいと思います。協力したり心を合わせたりするためには、仲間との意見や気持ちの違いなど、簡単にはいかない苦労や悩みもあるかと思いますが、それらを乗り越えていく努力をする中で、心が鍛えられたり、自分の得意なことや良いところなどが発見できたりします。さらに、周りの人たちへのいたわりや思いやりの心など、集団生活であるからこそ得られることがたくさんあります。

それは「人が人を磨く」ということです。ダイヤモンドがダイヤモンドで磨くことで美しく輝くようになるように、皆さんもこの高松中学校で、お互い同士が磨き合い高め合って、自分を成長させ、輝かせてほしいと思います。

子どもたちには、学校生活の中でいろいろなことに失敗を恐れず積極的に挑戦し、自分の力を伸ばしてほしいと考えています。

何か新しいことに挑戦するには勇気が必要です。もしうまくいかなかったときは、つらい思いをすることもあります。子どもが最善を尽くしながらも悩んだり、挫けそうになったりしたときには、われわれ大人の支援や励ましがが必要です。中でも、毎日の規則正しい生活習慣やご家庭での温かい見守りと励ましは、挑戦する気持ちの支えや困難を乗り越える力、がんばる力の源となります。

今年度も、確かな学力の定着と豊かな心の育成を目指し、教職員一同全力を尽くします。保護者・地域の皆様には一層のご理解とご協力の程、よろしくお願いいたします。